



## 2025年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年5月15日

上場会社名 株式会社環境フレンドリーホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3777 URL <http://www.ef-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 車 陸昭

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 中村 尚美

TEL 03-6261-0081

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	331	92.9	8	113.7	5		5	
2024年12月期第1四半期	4,712	212.9	59		58		58	

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 4百万円 ( %) 2024年12月期第1四半期 58百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	0.01	0.01
2024年12月期第1四半期	0.20	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	3,401	3,203	93.3
2024年12月期	3,508	3,199	90.3

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 3,172百万円 2024年12月期 3,168百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期		0.00		0.00	0.00
2025年12月期					
2025年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

業績予想につきましては、現段階で合理的な業績予想の算定を行うことが困難なことから未定とし、記載しておりません。今後、合理的な予想が可能となった時点で速やかに公表いたします。なお、当該理由につきましては、添付資料3ページ「2025年12月期連結業績見通し」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期1Q	289,756,980 株	2024年12月期	289,756,980 株
-------------	---------------	-----------	---------------

期末自己株式数

2025年12月期1Q	7,760 株	2024年12月期	7,660 株
-------------	---------	-----------	---------

期中平均株式数 (四半期累計)

2025年12月期1Q	282,852,641 株	2024年12月期1Q	282,853,154 株
-------------	---------------	-------------	---------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結の範囲の重要な変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、所得環境の改善やインバウンド需要の増加により、景気は緩やかに回復を見せたものの、インフレの継続や円安の進行に伴う物価上昇、ウクライナ情勢や中東情勢の長期化など、依然として経済情勢の先行きは不透明な状況が続いております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高331,680千円（前年同四半期比92.9%減）、営業利益8,176千円（前年同四半期は営業損失59,397千円）、経常利益5,635千円（前年同四半期は経常損失58,359千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,249千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失58,866千円）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

#### （資源エネルギー事業）

資源エネルギー事業では、太陽光発電所のアセットマネジメント業務（金融コンサルティング・AM事業）、太陽光発電設備等の取得・開発・運営業務（再生可能エネルギー開発事業）、電力小売事業（エネルギーソリューション事業）、バイオマス&ソルガム事業（バイオマス再生可能エネルギー開発事業）を行っております。当第1四半期連結累計期間におきましては、新規の業務受託収入やアセットマネジメント収入等により、売上高95,240千円（前年同四半期比74.4%減）、セグメント利益41,445千円（前年同四半期はセグメント損失38,848千円）となり、電力小売事業において急激な電力価格の高騰や補助金などの政策方針の変更により事業への影響が懸念され、2024年4月以降の新規受注を停止していること等から前年より売上高が大きく下回る結果となりました。

#### （リユース事業）

リユース事業では、新品および中古品の家電製品の仕入販売業務（リユース事業）、Webアプリケーションの開発及びサポート業務（ソフトウェア事業）を行っております。当第1四半期連結累計期間におきましては、リユース事業においてiPhoneやゲーム機の買取及び販売等により、売上高113,640千円（前年同四半期比97.2%減）、セグメント利益1,316千円（前年同四半期はセグメント利益5,461千円）となり、リユース事業においてiPhoneやゲーム機器の仕入コストが上昇している一方で、中国におけるiPhone販売不振により販売価格が低下していること、また、税務調査に伴う消費税還付の遅延が要因となり事業資金が不足し、一時的に受注活動を停止していること等から前年より売上高が大きく下回る結果となりました。

#### （環境事業）

環境事業では、機械式立体駐車場据付工事、修繕・保守メンテナンス業務（立体駐車場事業）、マンション・オフィスビル等の管理、清掃業務（ビルメンテナンス事業）、マンションやオフィスビル等の建物修繕工事（建設業）および不動産事業を行っております。当第1四半期連結累計期間におきましては、立体駐車場事業の定期保守メンテナンスに加え、建設業において新規工事受注等により、売上高122,798千円（前年同四半期比16.1%減）、セグメント利益2,579千円（前年同四半期はセグメント利益21,472千円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

（資産・負債及び純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ107,033千円減少し、3,401,738千円となりました。主な要因は、短期貸付金が300,000千円、預け金が299,655千円増加したものの、現金及び預金が727,960千円、受取手形及び売掛金が60,594千円、その他流動資産が20,692千円減少したこと等によるものであります。

総負債は、前連結会計年度末に比べ111,569千円減少し、197,880千円となりました。主な要因は、買掛金が35,034千円、短期借入金が20,000千円、未払金が26,363千円、未払消費税等が27,906千円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ4,535千円増加し、3,203,857千円となりました。主な要因は、利益剰余金が5,249千円増加したこと等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、既存事業、新規事業について、計画の実現可能性も含め不透明な状況であるため、業績予想の合理的な算定が困難であることから、未定としております。

資源エネルギー事業において、飼料・燃料として共通または転用使用できるソルガム種の開発、生産、販売事業は天候により生育・収穫に大きく影響を及ぼす可能性があります。電源開発事業において、固定買取制度（改正FIT法）に認定される必要のない太陽光発電施設の開発を計画しておりますが、市場価格の変動、政策変更や技術進化により、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。電力小売事業においては、急激な電力高騰や補助金などの政策方針変更により、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があり、事業の見直しも視野に入れております。資源エネルギー事業においては、再生可能エネルギー市場の変動に迅速に対応した事業戦略の策定、また、前連結会計年度に株式交換により子会社化した株式会社E F インベストメントが行う太陽光発電所のアセットマネジメントサービスの拡充、再生可能エネルギーの投資案件に特化したクラウドファンディングサービスの早期事業化、ペロブスカイト太陽光事業への参入等により、将来収益の基盤の構築を進めてまいります。

リユース事業において、消費者動向の変化による商品の仕入れや在庫管理、為替相場の変動による商品の取引価格の変動、また、商品出荷に伴う諸経費（運送費）の高騰により、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。リユース事業においては、収益性の高い商品ラインへの選択と集中、販路の最適化、ならびに在庫回転率の改善を通じたキャッシュフローの強化を図ることで、事業の収益向上の見直しと持続的な成長に向けた体制強化を進めてまいります。ソフトウェア事業においては、新規顧客の開拓、既存顧客との取引関係の維持・強化および保守・サポート業務を強化し、安定的な収益基盤の確立を図るとともに、事業全体の効率化およびコスト構造の見直しを進め、収益性の維持・向上に努めてまいります。

環境事業において、資源価格の高騰による原材料・資材不足等により、受託業務の停止や作業工期の延期・遅延が発生する恐れがあります。また、人員不足による事業活動の停止や事業運営に支障が生じ、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。環境事業においては、ビルメンテナンス管理業務の見直し、立体駐車場据付工事およびメンテナンス事業の受注規模、受注地域の拡大、新たな人員確保等により、安定的な収益基盤の確立を図るとともに、事業全体の効率化およびコスト構造の見直しを進め、収益性の維持・向上に努めてまいります。

今後、合理的に算定可能となった時点で速やかに公表いたします。今後の状況に応じ、採算性の向上に取り組み、早急に業績回復へ向けた事業再編を実行できるよう推し進めてまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,041,117	313,156
受取手形及び売掛金	133,379	72,784
商品	3,067	817
短期貸付金	—	300,000
前渡金	395,339	388,952
未収消費税等	1,559,431	1,568,794
預け金	512	300,168
その他	47,008	26,316
貸倒引当金	△11,956	△11,871
流動資産合計	3,167,899	2,959,119
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	699	680
機械及び装置（純額）	28,149	27,319
車両運搬具（純額）	904	753
工具、器具及び備品（純額）	5,366	4,793
建設仮勘定	50,911	46,119
土地	39,178	39,178
有形固定資産合計	125,210	118,845
無形固定資産		
のれん	163,262	159,076
その他	19,088	16,540
無形固定資産合計	182,350	175,616
投資その他の資産		
長期未収入金	29,826	29,826
出資金	60	120,060
その他	31,744	26,671
貸倒引当金	△29,826	△29,826
投資その他の資産合計	31,804	146,731
固定資産合計	339,365	441,193
繰延資産		
開発費	1,506	1,424
繰延資産合計	1,506	1,424
資産合計	3,508,771	3,401,738
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	72,879	37,844
短期借入金	20,000	—
1年内返済予定の長期借入金	5,904	4,428
未払金	55,924	29,561
未払法人税等	4,222	607
未払消費税等	38,972	11,066
前受金	15,351	15,047
預り金	24,054	25,344
その他	60,665	63,162
流動負債合計	297,974	187,062
固定負債		
長期借入金	6,888	6,888
その他	4,587	3,929
固定負債合計	11,475	10,817
負債合計	309,449	197,880

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	3,102,121	3,102,121
利益剰余金	37,891	43,141
自己株式	△691	△694
株主資本合計	3,169,321	3,174,567
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△909	△1,619
その他の包括利益累計額合計	△909	△1,619
新株予約権	30,909	30,909
純資産合計	3,199,321	3,203,857
負債純資産合計	3,508,771	3,401,738

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	4,712,696	331,680
売上原価	4,551,237	213,079
売上総利益	161,459	118,601
販売費及び一般管理費	220,856	110,425
営業利益又は営業損失(△)	△59,397	8,176
営業外収益		
受取利息	4	3,488
為替差益	2,625	—
その他	1,680	3,674
営業外収益合計	4,310	7,163
営業外費用		
支払利息	61	92
支払手数料	2,850	6,848
その他	359	2,763
営業外費用合計	3,272	9,704
経常利益又は経常損失(△)	△58,359	5,635
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△58,359	5,635
法人税、住民税及び事業税	506	386
法人税等合計	506	386
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△58,866	5,249
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△58,866	5,249

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△58,866	5,249
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	287	△710
その他の包括利益合計	287	△710
四半期包括利益	△58,578	4,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△58,578	4,539

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日）、「包括利益の表示に関する会計基準」（企業会計基準第25号 2022年10月28日）及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	844千円	4,135千円
のれん償却額	6,388	4,186

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	資源エネルギー 事業	リユース事業	環境事業	計		
売上高 顧客との契約か ら生じる収益	372,440	4,193,795	146,461	4,712,696	—	4,712,696
外部顧客への 売上高	372,440	4,193,795	146,461	4,712,696	—	4,712,696
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	372,440	4,193,795	146,461	4,712,696	—	4,712,696
セグメント利益 又は損失(△)	△38,848	5,461	21,472	△11,915	△47,482	△59,397

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに帰属しない全社費用が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、従来「IT関連事業」としていた報告セグメントの名称を、「リユース事業」に変更しております。なお、報告セグメントの名称の変更によるセグメント情報に与える影響はありません。また、前第1四半期のセグメント情報は変更後の名称で記載しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	資源エネルギー 事業	リユース事業	環境事業	計		
売上高 顧客との契約か ら生じる収益	95,240	113,640	122,798	331,680	—	331,680
外部顧客への 売上高	95,240	113,640	122,798	331,680	—	331,680
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	95,240	113,640	122,798	331,680	—	331,680
セグメント利益	41,445	1,316	2,579	45,341	△37,165	8,176

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに帰属しない全社費用が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。